

# 北海道での花菖蒲開花調査

夕張郡 長沼花菖蒲園 高橋 俊明



左ページ三枚の表は、過去六年間の私共の園での開花順序です。調査方法としては、一つの品種の二年目株が、畝の長さにして十メートル以上あり、また二ヶ

所以上ある品種を調査の対象として選びましたので、調査できた品種も栽培している品種中の半分程度です。

開花の基準としては、畑を毎朝廻り、一畝で花が五輪咲いた日を開花日としました。場所が異なると栽培のほんの少しの違いか、また地力のせいか同一の品種でも多少日にちがずれて咲くことがあります。一年二ヶ所づつの調査をして、天候の状態で順位の変わることもありますが、ここに紹介したのは六年間調査しての平均を出してあります。

例年一番早く咲く「八ヶ岳」の開花は、その年の気候によりかなり左右されますが、平均すると六月の二十四日～二十五日くらいです。「蛍の里」との間に一日くらいの間がありますし、「霧ヶ峰」から「揚羽」の間に四日くらいの間があります。咲き

順で八日目くらいからは毎日の咲き順となり、ここでだいたい七月の十日前後になります。この頃からお客様からお金がとれるようになります。終わりの方の二十一番くらいは、七月の二十一日くらいに当たり、このあたりからはまた、開花が一日から二日の間が空き、「笑布袋」くらいで七月の二十五日前後となります。開花数が少なく、この表には載っていませんが、「花筐」などは「笑布袋」が終わつました。場所が異なると栽培のほんの一品種でも多少日にちがずれて咲くことがあります。また、『花菖蒲品種総目録』に記載されている花期は、どの花を基準にして早、中、晩としているのかわかりません。また関東中部の一般地とは咲く順序も違うかもしれません。ですが、何かの参考になればと思います。

私共のところでは、古い品種が多く、今園には通用しないところがあるかと思います。また、『花菖蒲品種総目録』に

圃場全面に促成処理をする所もあるうで、品種を選んでいます。

圃場全面に促成処理をする所もあるうかと思いますが、資材費や労力が多くかかり、また花の終わりも早くなる様なのが、品種を選んでいます。

左ページ二段目の右の表は、「パオパオ」等の保温資材を圃場に直接ベタ掛けした場合の花菖蒲の開花促進表です。この調査も開花日調査と同じく、一品種十メートル以上の畝で同一品種が二ヶ

所以上ある品種を選び、六年間の開花平均値を出したもので、まず自然状態で「揚羽」、「初鏡」などより後には咲くことになるが、割と早咲きの品種を選びました。

その理由として、極早咲きの品種はあまり量がなく、お客様を呼ぶには園が寂しく、開花調査で八番から十一番位の品種の中から条件に合った品種を選び、促成処理をして、「揚羽」、「初鏡」などと同じ日に咲かせるようにしました。この方法で、開園を二日間程度早く出来るようになりました。

処理方法としては、一品種十メートル以上ある畝の半分だけ保温資材を掛けてやります。後の半分は自然にまかせます。この方法で被覆処理区と無処理区の差を見ました。被覆する時期は、芽出し直後の四月下旬から約一ヶ月間です。初めてのうちに出でた新芽に密着するよう

に掛けて、伸びてきたりその都度葉の長さに応じて緩めて行きます。掛ける時に害虫予防のためオルトラン粒剤を十アール当たり十

品種名	咲順備考	品種名	咲順備考	品種名	咲順備考
八ツ岳	1	乱れ糸	1 1	加茂川	1 4
螢の里	2	八咫鏡	1 1	冠獅子	1 4
霧ヶ峰	3	色の司	1 2	北の乙女	1 4
八乙女	4	霧ヶ島	1 2	玉宝連	1 4
早性無双	4	松籟	1 2	小青空	1 4
揚羽	5	雪月花	1 2	五色の珠	1 4
木曾川	5	姫鏡	1 2	紫雲の重	1 4
蛇の目傘	6	水の光	1 2	潮騒	1 4
高嶋城	6	水辺の月	1 2	曙光	1 4
白馬山	6	美吉野	1 2	新秋鏡	1 4
初鏡	6	涼夕	1 2	宝の山	1 4
明石山	7	九十九髪	1 2	友鶴	1 4
朗月	7	葵形	1 3	夏姿	1 4
旭丸	8	朝日の雪	1 3	万代の波	1 4
打瀬舟	8	安積の関	1 3	平和の神	1 4
車山の暁	8	伊勢路	1 3	ミスコケット	1 4
辰野	8	潮来の夢	1 3	菜園	1 4
桃源	8	江戸不知火	1 3	葵の上	1 5
濃無双	8	喜久鳥	1 3	綾瀬川	1 5
初日影	8	金剛山	1 3	伊豆の海	1 5
藤袴	8	衆指の誉	1 3	妹背川	1 5
紅の糸	8	翠月	1 3	浮寝鳥	1 5
片桐の里	9	清少納言	1 3	上総乙女	1 5
明石潟	1 0	千歳	1 3	雲衣装	1 5
嵐山	1 0	長生殿	1 3	群山の雪	1 5
乙女鏡	1 0	筑羽根	1 3	御所遊	1 5
和夫の誉	1 0	鼓歌	1 3	桜の春	1 5
紫撰集	1 0	天女の冠	1 3	五月晴	1 5
津の花	1 0	テントーライフ	1 3	佐野の渡	1 5
大紫	1 1	花奴	1 3	春眠	1 5
岐山の春	1 1	ピックロスト	1 3	醉美人	1 5
紫苑	1 1	都錦	1 3	ゲゲ袖	1 5
縞菖蒲	1 1	紫式部	1 3	兜化粧	1 5
日の出鶴	1 1	海萤	1 4	千早の昔	1 5
紅小路	1 1	鎌田錦	1 4	登竜門	1 5

品種名	咲順備考	品種名	咲順備考	品種名	咲順備考
錦の袖	1 5	頬光	1 6	山車	1 8
花篠六英	1 5	鸞鳳	1 6	殿上人	1 8
花紫	1 5	若夏	1 6	北海道の女	1 8
紅鶴	1 5	朝戸開	1 7	熱砂の舞	1 8
スピーラークレイ	1 5	潮の煙	1 7	春雨	1 8
舞狸々	1 5	江戸錦	1 7	碧濱	1 8
水玉星	1 5	沖の白帆	1 7	牡丹桜	1 8
吉野山	1 5	海王星	1 7	梵天	1 8
秋の錦	1 6	通小町	1 7	舞扇	1 8
朝焼富士	1 6	古希の色	1 7	山科	1 8
葦の浮舟	1 6	五三の宝	1 7	大和姫	1 8
淡路島	1 6	桜獅子	1 7	雪国	1 8
磯千鳥	1 6	写楽	1 7	夜の蝶	1 8
大江戸	1 6	祝盃	1 7	勇獅子	1 9
故郷の春	1 6	新紫鳳殿	1 7	霞の衣	1 9
湖水の色	1 6	神武天皇	1 7	雲井の雁	1 9
紫宸殿	1 6	千鳥	1 7	黒竜錦	1 9
紫鳳殿	1 6	千代の春	1 7	鷺の森	1 9
石橋	1 6	白鷺	1 7	白瀧	1 9
白鷺	1 6	花車	1 7	新夜の虹	1 9
セルバーツ	1 6	芭蕉	1 7	天女の舞	1 9
新兒化粧	1 6	米寿	1 7	日本海	1 9
水天一色	1 6	舞妓	1 7	万戸の声	1 9
玉津島	1 6	冥王星	1 7	鳳山	1 9
濁酒盃	1 6	藻潮の煙	1 7	夜嵐	1 9
伊達道具	1 6	八咫鳥	1 7	五節の舞	2 0
月の玉川	1 6	薄化粧	1 8	桜村雨	2 0
業平	1 6	華厳の滝	1 8	大極殿	2 0
火の国	1 6	月桂冠	1 8	白玉楼	2 0
紅椿	1 6	九重	1 8	羽衣	2 0
鳳心	1 6	桜川	1 8	春の小川	2 0
望岳樓	1 6	沢辺	1 8	ブルーポンポン	2 0
雪燈籠	1 6	深窓佳人	1 8	丸子の躰	2 0
雪姫	1 6	渝茫の渉	1 8	紅葉山	2 0
夜の虹	1 6	太閤	1 8	ルリ扇	2 0

品種名	咲順備考
連城の壁	2 0
青葉川	2 1
大淀	2 1
黒雲	2 1
細雪	2 1
紫溟の秋	2 1
垂廉	2 1
瑞穂の国	2 1
池の蓮	2 2
深海の色	2 2
竜頭	2 2
内裏	2 2
千年の友	2 2
照田	2 2
磯の朝風	2 3
千代田城	2 3
笑布袋	2 3

被覆材	使用開花差表
品種名	開花差
桃源	4 紫撰集
紅の糸	3 冠獅子
乙女鏡	3 涼夕
明石潟	3 紹菖蒲
喜久鳥	3 紫式部
安積の関	3 葵形
松籟	3 小青空
岐山の春	3 五色の珠
和夫の誉	3 紫雲の重
美吉野	3 長生殿
八咫鏡	3 千歳
色の司	3 紫獅子
日の出鶴	3 加茂川
旭丸	3 雪月花
紫苑	3 夏姿
濃無双	3 曙光
天女の冠	3 平安
初日影	3 辰野
江戸不知火	3 伊勢路
大紫	3 紅小路
金剛山	2
車山の暁	2
筑羽根	2
清少納言	2
水の光	2
潮来の夢	2
翠月	2
ピックロスト	2
鼓歌	2
姫鏡	2
新秋鏡	2
浮寝鳥	2
水辺の月	2

北海道で調査の結果、試験結果を簡単に書きましたが、府県とは気象条件がかなり異なると思いますので、何かの役に立てばと思います。

北海道で調査の結果、試験結果を簡単に書きましたが、た、天候によつても差が出ましたが、少しの労力で開園を早めることができました。「パオパオ」、「タフベル」、「スカイテック」など五種類の被覆資材で試してみましたが、資料による差はほとんどありませんでした。

表にも記しましたが、品種により差がありました。また、天候によつても差が出ましたが、少しの労力で開園を早めることができます。「パオパオ」、「タフベル」、「スカイテック」など五種類の被覆資材で試してみましたが、資料による差はほとんどませんでした。

以降六月十五日以前までに咲き出すものを「晩生」それ以降に咲き出すものを「極晩生」として考えています。が、その年の気候により差がありますし、その土地の気候風土によつても開花期はばらつくので、こちらもだいたいのものをお考えください。

キログラムを被覆資材を掛ける長さに応じて散布しておきます。この一回で、後は開花後まで薬剤散布は必要ないようです。被覆をはずす時期は、五月下旬から六月上旬頃で、花菖蒲の生育状態にあわせますが、資材を外してから折れ曲がった葉が自然に回復するまで、四十日くらいかかるようです。

ある花期は、どの花を基準にして早、中、晚とされているのかわかりません。との問い合わせをいただきましたが、『花菖蒲品種総目録』は、記録文献に記載された開花時期をそのまま引用しただけで、全ての品種を比較栽培した結果というものではありません。作出された地域やその年の気候、また個人の主観によっても違つてきますので、だいたいのものと考える程度かと思われます。また、花色花形の表記も記録文献によるもので、統一されているわけではありません。加茂花菖蒲園では、一応五月二十日以前に咲き出すものを「極早生」、それ以降六月十日以前までに咲き出すものを「早生」、それ以降六月十五日以前までに咲き出すものを「中生」、それ

## 開花期の基準

高橋さんの方から『花菖蒲品種総目録』に